

平成27年度 第1回協働のまちづくり推進計画検討委員会 会議録

日時	平成27年5月21日（木）13:10～15:30
場所	富里中央公民館4階大会議室
出席委員	久野委員長，小出副委員長，小川委員，草野委員，佐藤委員，土屋委員，石川委員，篠原委員，相川委員，桑岡委員，佐々木委員，山本委員，高澤委員，中川委員，藤田委員，加瀬委員，高嶋委員，中津委員，小沼委員
欠席委員	川嶋委員
アドバイザー	関谷 昇 氏（千葉大学 法経学部 准教授）
事務局	市民活動推進課 粕谷課長，岡村主査，菅谷，渡辺
出席者	相川市長，綿貫市民経済環境部長
傍聴者	2名

[会議次第]

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 アドバイザー紹介（千葉大学 法経学部 准教授 関谷 昇 氏）
- 6 議題
 - （1）委員長・副委員長選出
 - （2）会議の公開と会議録等について
 - （3）検討内容及びスケジュール（案）について
- 7 富里市協働のまちづくり推進計画の取り組みに係る進捗状況について（市民活動推進課）
- 8 市の取り組みから見える後期実行計画の方向性について（アドバイザー）
- 9 意見交換
- 10 その他
- 11 閉会

[会議概要]

	<p>次第6 議題</p> <p>(1) 委員長・副委員長選出</p> <p>委員の互選により、 委員長に久野委員，副委員長に小出委員で決定。</p> <p>(休憩)</p> <p>(2) 会議の公開と会議録等について</p> <p>・協働のまちづくり推進計画検討委員会の設置及び運営に関する要綱第6条により，委員長が議事の進行を務める。</p>
委員長	事務局より会議の公開と会議録等について説明をお願いします。
事務局	資料2により会議の公開と会議録等について説明。
委員長	事務局より会議の公開と会議録等について説明がありました。 会議の公開については，5年前の検討委員会から議論を重ねており，私は大変重要なことだと思っております。市民の方が，HPなどに掲載された議事録や，会議での提言のまとめと積み重ねたものとの整合性を検証することや，どのように市政で運営されているのかを検証することが出来るようになります。
A 委員	このことについて，何かご意見はありますでしょうか。 色々な会議で資料を持ち帰らないようになってきていることに疑問を感じます。資料の内容，受け取り方によっては誤解を招いてしまうものがあることも事実です。HPに議事録が公開されますが，閲覧しない方も沢山いらっしゃるもので，この会議のように市民目線で行われているものについては，差し支えない範囲でいくつか資料を持ち帰れるよう検討していただきたいと思います。

B 委員	A 委員の意見に賛成です。私も以前、参加した会議で持ち帰りたい資料が手に入りませんでした。市民の意見を取り入れるためにも、出来る範囲でご検討いただきたいと思います。
委員長	お二人から会議資料の取り扱いについてご意見がありました。 いくつかの問題点のうち、1つ目はプライバシーに関するものが含まれていること、2つ目は協議過程のものが外に持ち出されることによって、決定事項として独り歩きしてしまう危険性があること、3つ目は資料の中に著作権に関わるものがあること等が挙げられます。個人的には、すでに決定して公開している資料については、持ち帰っていただいても構わないと思っておりますが、一律には決められないと思っております。
A 委員	一律にすることは難しいと思っておりますので、事前に事務局・委員長・副委員長で内容を確認の上、判断していただければと思います。
委員長	それは見方によって、こちらで検閲していると思われてしまい、私はこの資料が欲しかったのに拒否された、というような傍聴者が現れるかも知れません。
B 委員	出来るだけ公開する方向でという提案なので、細かいことは今後検討することとして、委員会の方向性としてこれでやっていこうということであれば、一歩ずつ努力していけばよろしいのではと思います。
事務局	後でHPに掲載する資料については、持ち帰っていただくことは可能です。ただ、議論の過程で言葉だけでは共通認識をいただくことが難しい場合もあるため、参考資料をお示しする場合がございます。こちらについては委員長もおっしゃったとおり、独り歩きして決定事項となってしまう可能性があるため、公開しないこととしています。簡潔に申し上げますと、事務局へご相談いただければ支障がないものと考えております。

委員長	<p>事務局と傍聴者の資料についてのやり取りの中で、なぜこの資料は持ち帰れないのかといった意見があれば、委員会へフィードバックしていただいて検討を重ねていくという方向性でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">～特に意見なし～</p> <p>(3) 検討内容及びスケジュール（案）について</p>
委員長	事務局より検討内容及びスケジュール（案）について説明をお願いします。
事務局	資料3により検討内容及びスケジュール（案）について説明。
委員長	<p>事務局より検討内容及びスケジュール（案）について説明がありました。</p> <p>今年度は8回を予定しています。5年前の検討委員会では別途有志で勉強会や他市への見学をしておりました。今年度も実施されるかは未定ですがお伝えしておきます。</p> <p>このことについて、何かご意見はありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">～特に意見なし～</p>
委員長	<p>それではこれで本日の議題を終了とします。</p> <p>次第7 富里市協働のまちづくり推進計画の取り組みに係る進捗状況について</p>
事務局	資料4・5・6により説明。
事務局	<p>担当より市の取り組みの何点かについてご説明差し上げました。第1回と第2回の会議では、市の取り組みについてご説明させていただき、第3回目以降は後期実行計画について具体的な検討をしていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>次第8 市の取り組みから見える後期実行計画の方向性につ</p>

事務局	<p>いて（アドバイザー）</p> <p>続けて、市の取り組みから見える後期実行計画の方向性について、関谷先生よりご講義をいただきます。</p> <p>ご質問等につきましては、先程の説明についても含めまして、次第9の意見交換で受けさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは関谷先生、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">～アドバイザーによる講義～</p> <p>次第9 意見交換</p>
事務局	<p>それでは、先程ご説明差し上げました取り組みに係る進捗状況、また、この機会に関谷先生へ確認したいことなどございましたら、挙手をいただければと思います。</p>
委員長	<p>関谷先生のお話の中で、後期実行計画の策定にあたっての協働への新しい視点のヒントを沢山頂戴しました。そして、協働の守備範囲というのは無限大だと思っております。特に今日、ここにきて富里市は本気だな、新しい段階に踏み込んだなと思ったことは、市の職員の方が5名、委員として加わっているということです。前期実行計画では、市、市民、市民活動している団体等といったそれぞれをいかにつなげていけるかが主な論点でした。しかし、後期実行計画では、それぞれがいかに協力して新しい事業を構築していけるのかという段階に移ってきているのではないかと思います。例えば、先進地では地域貢献している企業について、公共事業を優先的に回すという動きがある中で、その公平性を確保するための仕組みづくりを協働でやっていくことや、将来は学生にも委員会へ参加してもらおうといった取り組みが考えられます。是非、新しい委員の皆さんからこういう事業はどうかといった提案を沢山いただき、それについて検討していきたいと強く思っております。</p> <p>その他に委員の方から、ご質問やご意見はございますか。</p>
C 委員	<p>委員長にお願いなのですが、議題を進めていく中で、どうい</p>

	<p>う発言をしていいのかわからない方もいらっしゃると思います。一言も話さずに会議が終わってしまうことのないよう、皆さんに話を振っていただき、意見を吸い上げてもらいたいという思いがあります。その上で、委員長が意見をまとめていただけないでしょうか。</p>
委員長	<p>冒頭にも申しあげたとおり、市民目線での素朴な意見等があれば拾っていきたいと考えており、次回以降も皆さんからの活発な意見を賜り、取り入れていくことが委員長としての責務だと考えております。</p>
D 委員	<p>自分の得意分野や関係分野であれば意見を出せるのですが、全体を通してみると、意見が出せないことが多く難しいのが現状です。そのため、関谷先生からいくつかご提案をいただくと計画策定に取り組みやすいと思っております。よろしくをお願いします。</p>
アドバイザー	<p>色々な課題がある中で、ひとつは先程申し上げた中で、市民や団体と行政の関係があります。お互いに意見交換する場面が少ないため、様々な角度からこれをどのように充実させていくのかということについてです。市の職員の方も委員となっていますので、ある意見についてどこを改善すれば充実させられるのかといったことをお互いに引き出していただければと思います。理想の形だけを作っても、動きが出てこなければ意味のないものになってしまうので、皆さんが本音で語り合っていくことが必要です。</p> <p>もうひとつは、富里市の資源に価値を付加していくことが大事だと申し上げました。まだ地域に眠っている人や物といった資源にどのような価値を付加していくのか、これを行うことにより更なる地域の活性化が期待されます。以上の2点を挙げさせていただきます。</p>
事務局	<p>D 委員、よろしいでしょうか。</p> <p>今回と次回は事務局からの説明事項が多くなってしまいましたが、後期実行計画を検討いただく上で、まずは現状の共通認識が大事と考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>

	<p>3回目以降は意見交換やグループワークといったスケジュールを予定しております。 その他にご質問等がなければ、これで終了といたします。</p> <p>次第10 その他</p> <p>～特になし～</p> <p>～閉会～</p>
--	--